

食物アレルギーを子ども同士で支え合う



啓発ポスター



子ども同士で理解し支え合う

食物アレルギーは乳幼児期に発症することが多く、就学前は保護者や大人たちにより守られていますが、小学生になると保護者のいない場面で自分で判断して行動する必要があります。患者は多くいるものの、学校を含め、食物アレルギー啓発に充てられる時間は限られ、なかなか理解が難しい状況にあります。そこで、食物アレルギーを理解し協力する体制づくりを目的に、小学校全体で食物アレルギーの啓発に取り組むことが重要です。そのため、**自分と違う友人の事情を理解し支え合い**、多様性を受け入れ、友人のために何ができるのか考える啓発学習プログラムを作成し、全国に展開することの必要性を感じていました。

楽しみながら学ぶ

学童期の子ども達にアレルギー全般を無理なく知ってもらえるように、学校行事をテーマにしたポスターを活用しました。子ども達が慣れ親しんでいる学習啓発マンガ形式にアレルギーの疾患や注意点、関連情報を盛り込み、学校の各所に掲示できるよう、給食、調理実習、運動会、宿泊行事、災害の5種類を製作しました。また、ポスターの内容を再構成し、自分で「豆本」を作りながらさらに理解が深まるよう工夫しました。専門医の医療監修や、教育現場の声を生かし、**子ども達の理解しやすい構成と表現を心掛けました。**

食物アレルギーサインプレートの普及

誤食事故を防ぐために自分のアレルゲンをイラストによって伝えることができる「食物アレルギーサインプレート」を、アレルギー診断において重要な検査を行っている食物経口負荷試験実施施設 500 か所に対して配布を行うことができました。

講演会・相談事業

年間を通じて、**オンラインを活用した患者相談**を行うほか、夏休みには子ども達も参加できるワークショップを開催しました。また、新学期に向けた3月には、入園・入学を控えた保護者や学校、保育関係者を対象にした食物アレルギーの講演会をオンラインで開催し、全国から100名近い患者保護者、教育関係者、医療従事者などが参加し、関心の高さがうかがえます。

NPO 法人ピアサポート F.A.cafe

(神奈川県藤沢市)

事業名 食物アレルギーを子ども同士で支え合う事業

URL <https://www.facafe.org/>